

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、14～22°C台を示し、平年並み～やや高めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網--西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり21トンの水揚げで、前週の1.2倍（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり17トンの水揚げで、前週の2.4倍（前年並み）。
- イカ釣----ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり16kgの水揚げで、前週の3.2倍（前年を下回った）。
- 定置網----五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり159kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり71kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マサバなどが1日1統当たり348kgの水揚げ。
- 一本釣----北松宇久地区では、カマスが1日当たり191kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期(12/10～12/15の6日間)の沖合イカ釣(船凍船)は、八戸～三沢沖で操業したが時化のため入港、及び大和堆沖探索船あり。
沿岸イカ釣(氷蔵船)は、海況悪く出漁せず。
沖合イカ釣(鳥取県西部・沖合船)は、入港船なし。
(漁業情報サービスセンターより)

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>